

JPA Japan Paraglider Association.

日本パラグライダー協会

2026年度

JPA オーガナイザーハンドブック

Ver. 16.00

 **変更項目**

JPA オーガナイザーハンドブック 2026

このオーガナイザーハンドブックは、日本パラグライダー協会（JPA）公認大会を運営する主催者のために作成されています。

はじめに

JPA 公認大会を行う主催者は、競技大会が安全かつ円滑に運営されることを常に配慮し、選手の育成を目的とし、以下の項目に沿って運営してください。

変更項目

目次

1	概要	4
2	大会の承認	4
3	公認申請の方法	4
4	大会開催日程	5
5	競技ルール	5
6	追加措置	5
7	大会役員構成	5
7.1	大会役員の役割と責任	5
8	大会開催に関する規則	6
8.1	航空法	6
8.2	募集定員と機材使用料金	6
8.3	選手懇談会	6
8.4	タスクセッターのガイドライン	6
8.5	保険	6
8.6	施設に関する規則	7
9	エントリー受付	7
9.1	受付	7
9.2	エントリーフィー	8
9.4	ファイナルイベント招待・優待選手	8
9.4.1	PNL ファイナルイベント招待選手	8
9.4.4	PCL ファイナルイベント招待選手	8
9.4.5	PCL ファイナルイベント優待選手	9
9.5	主催者費用	9
10	本部施設	10
10.1	本部施設(必ず屋内とする)	10

10.2	テイクオフ設備	10
10.3	ゴール設備	11
11	競技に関する規則	11
11.1	スコアリング	11
11.2	ソフトウェア	11
11.3	競技規則の変更	11
11.4	公式掲示	11
11.5	ブリーフィング	11
11.6	ペナルティー	11
11.7	タスクセット	12
11.8	安全について	12
11.9	安全確認	12
11.10	タスクボードへの記載事項	12
12	救助方法	12
12.1	目的	12
12.2	事故の通報後	12
12.3	事故現場到着後	12
12.4	怪我人の保護と救助	13
13	大会報告書	13

1 概要

公認大会ルール、大会公認申請用紙、主催者への注意事項は JPA ホームページ上で適時更新されますので、主催者はこれらを確認し、常に新しい情報を収集するようにしてください。（競技事業部からの公式発表は全てホームページより行われます）

2 大会の承認

主催者から提出された開催申請は、JPA（日本パラグライダー協会）競技事業部にて公認大会ルールに沿って検討され、問題がなければ承認されます。開催について変更箇所が指摘されれば、主催者はこれに従って変更し、再度承認を受けてください。

3 公認申請の方法

大会の公認を希望する主催者は、以下の項目を含んだ JPA 所定の申請書を提出してください。

- ・ 主催者が JPA 正会員であるか、または JPA 正会員の推薦が必要
- ・ 主催者の住所と大会本部の設置場所
- ・ フライトエリア名、住所
- ・ 大会実行委員長名、競技委員長名
- ・ 大会日程
- ・ 予備日を設定する場合には、その旨と予備日使用のためのルールを開催要項に明記してください
- ・ 天候による開催延期を行う場合は、開催要項にて事前に告知してください
- ・ 大会役員構成
- ・ 本部施設
- ・ 宿泊施設の情報
- ・ 選手の輸送方法
- ・ 大会スケジュール
- ・ ローカルルール
- ・ ターンポイントとその座標が記載されたエリア地図（5 万分の 1）
- ・ 予定タスクとその距離
- ・ 緊急時の救急チャート

JPA 所定の大会公認申請用紙に必要事項を記入し、大会開始 3 ヶ月前までに JPA 事務局に郵送またはファイル (Word, Excel, Access)にて提出してください。

選手への案内郵送の為に選手データが必要な主催者は、申請用紙に必要事項を記入し大会申請時に提出してください。このデータは個人情報のため、大会開催においてのみ使用するようにしてください。

ただし、JPA が予め認めた形式の大会開催は、別に定める開催要領に従うものとします。

4 大会開催日程

大会期間は連続した日とします（例：10月1日～3日）

5 競技ルール

JPA 公認大会規定および、競技規定に基づいて行われます。ローカルルールがある場合は、JPA 競技事業部で承認される必要があります。ローカルルールは事前に参加選手に広報し周知してください。

6 追加措置

主催者は大会開催の旨を地元メディアへ伝え、取材してもらうことで広報に努めてください。気象条件によりレースを行う事が不可能とされるときには、追加の競技を地元、そしてメディアの為に行うことが望ましい。また、フライト不可能な日には他の提案をすることが望ましい。

7 大会役員構成

実行委員会は下記に合わせて役員を構成してください

- ・ 大会実行委員長
- ・ 大会競技委員長
- ・ テイクオフディレクターとテイクオフスタッフ
- ・ ゴールディレクターとゴールスタッフ
- ・ 本部役員（気象情報や成績結果の表示）
- ・ GPS スコアリング・オペレーターとその助手
- ・ Livetracking 監視 PC オペレーター（本部監視 1 名）
- ・ 選手輸送責任者
- ・ 気象情報収集責任者
- ・ 広報担当者
- ・ 救助活動責任者とそのスタッフ（日赤救急員、消防署での講習を受講済の者）
- ・ 必要に応じて気象状況を監視する担当者
- ・ 撮影担当役員
- ・ 報告書担当役員（JPA の HP および雑誌掲載記事用レポートの提出）

7.1 大会役員の役割と責任

大会本部の役割

- ・ 選手受付
- ・ 大会進行の全体の把握
- ・ 選手輸送責任者と共同して、配車手配
- ・ 本部の PC 等で気象概況を気象情報サイト等で毎時間チェックし、競技委員長へ報告します
- ・ **Livetracking 監視 PC オペレーター**
- ・ 開会式・閉会式・表彰式会場の進行手配
- ・ 緊急時の連絡網、他手配

- ・表彰状への選手の名前の記入
- ・スタッフ食事手配

実行委員長の役割

(大会運営の統括責任者)

- ・スケジュールの調整
- ・地元自治体、警察、消防との連絡調整
- ・大会が安全かつスムーズに進行するための運営を行います
- ・競技の進行を競技委員長と協力して進行します

競技委員長の役割

(大会の競技進行の責任者)

- ・競技が安全かつスムーズに行えるための決定を行います
- ・タスクコミッティー・セイフティーコミッティーと協議してタスクの決定を行います

競技事業部委員

- ・選手代表で、選手と主催者、実行委員長、競技委員長と話し合い競技が円滑にできるよう努めます
- ・選手の要望を主催者、実行委員長、競技委員長に伝える役割があります

8 大会開催に関する規則

8.1 航空法

全ての公認大会においては、航空法を遵守した大会運営を行ってください

8.2 選手懇談会

選手懇談会は、選手同士の歓談の場を提供することを目的とします。食事を目的とするものではありません。可能であれば開催することが望ましい。

例) ドリンクパーティー

8.3 タスクセッターのガイドライン

タスクは、競技において適切な設定であり且つ、安全が担保される必要があります。

主催競技委員長は、以下の物を大会開催申請書に添付してください。

- ・飛行領域の谷風の風向
- ・危険地帯（ケーブル、送電線等）がある場合には、地図上に明記し説明文を加えてください
- ・通常の気象条件で予定される 2 タスクとタスク距離を明記してください。1 つはサーマルコンディションが優れている時。1 つはサーマルコンディションが弱い時
- ・ターンポイントリストとマップデータ WGS84 での GPS 座標
- ・ターンポイントが記載されたパイロット用地図

8.4 保険

大会主催者は、1 件 1 億円以上の施設賠償保険に加入してください。JPA 正会員は大会主催において改めて加入する必要はありませんが、必要に応じて加入してください。

8.5 施設に関する規則

- ・テイクオフはキャノピーの開傘を確認してからテイクオフ出来る程度に十分広いこと

- ・ テイクオフエリアは特別なテクニックを必要とせずテイクオフ出来る様に整備されていること
- ・ ランディングエリアは最小でも直径 50m の円がかける、ほぼ平面であること
- ・ ランディングエリアは参加選手の技量に応じたサイズのものとする
- ・ ランディングエリアは危険となるような穴、切り株、立木等の障害物がないこと
- ・ フライトコース内に安全に降ろせる緊急ランディング場が確保されていること
- ・ テイクオフおよびランディングエリアには最低 1 本以上の吹き流し（風見）を設置すること
- ・ テイクオフエリアに風速計を設置すること
- ・ フライト場所の使用許可を得ていること
- ・ フライトコース内の諸行政（役所、警察、消防署等）に対し、当該大会の告知をしておくこと
- ・ 緊急医療設備の把握、連絡体制を整えること

9 エントリー受付

9.1 受付

主催者は以下の項目を確認すると共に選手受付を行なってください。

JPA より選手データを受け取り、選手の登録番号を基に選手受付を行います。

選手は、各リーグ登録時に飛行誓約書、使用グライダー誓約書、正会員スクール推薦状の提出が必要となります。シーズン途中において使用グライダーを変更する場合は参加希望大会開催 5 日前までに「グライダー変更届」を所属スクールから JPA 事務局へ提出してください。

受付の手順

1. 開催要項掲載と同時に案内を登録選手に送る。受け付け開始。



2. 大会開催 1 ヶ月前までに受付、入金される場合はエントリー費を－1000 円の早割対象とします。
（優待選手は早割対象外）



3. 1 ヶ月前、募集定員を超えているようであれば、受け付け終了。受付した選手を主催者によるセレクションの後、競技事業部にてセレクションします。結果は JPA ホームページにて発表します。



4. 受付入金したがセレクションされなかった選手のエントリー費に関しては、次大会エントリー費へ移行、または選手の希望により返金することもできます（返金の場合、振込手数料は選手負担とします）



5. 参加申込の受付は 1 週間前に締め切ります。

締め切り後のキャンセルは基本的にお受けできません。受付された場合はエントリー費を請求いたします。

9.2 エントリーフィー

主催者は選手よりエントリーフィーを徴収して運営を行います。

PNL 以下の表により決定します

料金には JPA 位置情報機器使用料 (2 日間¥2, 000) を含む

	大会 2 日間開催	大会 3 日間開催	大会 4 日間開催
JPA EX 証	20,000 円	23,000 円	28,000 円
前年度 PNL 総合ランキング TOP10	9,000 円	13,000 円	15,000 円
前年度 PNL スポーツクラスラ ンキング TOP3 & 女子 TOP3	9,000 円	13,000 円	15,000 円
前年度 PCL 総合ランキング TOP3 (ゼッケン 201~203)	9,000 円	13,000 円	15,000 円
学生 JPA EX 証	9,000 円	9,000 円	9,000 円

PCL エントリー費は以下の表により決定します

料金には JPA 位置情報機器使用料 (2 日間¥2, 000) を含む

	大会 2 日間開催
JPA パイロット証	15,000 円
オープンクラス	9,800 円
学生 JPA パイロット証	9,000 円

※PNL 併催で 3 日間開催の PCL は 2 日間開催金額と同一とします

※PCL リージョナルステージのエントリー費は主催者により決定します

9.3 ファイナルイベント招待・優待選手

ファイナルイベント（最終戦）直前（ただし、リージョナル大会は最終戦 10 日前までの大会終了時点までを採用）の大会終了時点の成績が下記のいずれかに該当する選手をファイナルイベントの招待または優待選手とする。

- ・招待選手のエントリー費は JPA 位置情報機器使用料を除き協会負担とします
- ・優待選手のエントリー費は 9,000 円とします（JPA 位置情報機器使用料を含む）

9.3.1 PNL ファイナルイベント招待選手

- ・ PNL 総合ランキング成績が上位 3 位までの選手
- ・ PNL 女子ランキング成績が上位 3 位までの選手
- ・ PNL スポーツクラスランキング成績が上位 3 位までの選手
- ・ PNL スポーツクラス女子ランキング成績が上位 3 位までの選手
- ・ 当年度 PNL 各大会において PNL 総合で優勝した選手

(重複した場合、繰り下げはしない)

9.3.2 PCL ファイナルイベント招待選手

- ・ PCL 総合ランキング成績が上位 3 位までの選手
(重複した場合、繰り下げはしない)
- ・ PCL 女子ランキング成績が上位 3 位までの選手
(重複した場合、繰り下げはしない)
- ・ 当年度 PCL 各大会において PCL 総合で優勝した選手

9.3.3 PCL ファイナルイベント優待選手

- ・ PCL 総合ランキング成績が上位 4 位と 5 位の選手

9.4 主催者費用

大会主催者は以下の費用を JPA に支払うこととします。

- ・ 選手一人当たり ¥1,500 (ナショナルリーグ)
- ・ 一大会あたり ¥5,000 (PCL リージョナルステージ)

この費用は事務局の事務運営費、競技事業部の管理運営費に充当させていただきます。

- ・ 大会運営並びにスコアリングのための専任スタッフを JPA より派遣する場合、主催者は、派遣役員に対して移動交通費を負担していただきます。

滞在中の交通費の算出方法は (高速道路距離+60km) × ¥30 および高速道路料金の実費としますが、主催者別の格差をなくすため、JPA 公認全大会で必要交通費を均一化します (交通費計算の別資料参照)

日本パラライダー協会からの派遣役員(最小)

判定・集計役員 1 名

10 本部施設

主催者は以下の物を大会本部並びにテイクオフ、ゴール地点に準備してください。

また、主催者はスタッフ間の連絡用に業務無線を用意してください。

10.1 本部施設(必ず屋内に設置してください)

- ・ 大会受付、GPS チェックインの為のスペース
- ・ スコアリングのためのターンポイント
- ・ 電話回線
- ・ 気象情報を得るためのインターネット接続回線
- ・ 電源
- ・ 公式掲示板 (1.8m × 0.9m 以上)
※SNS で運用する場合は用意しなくても良い
- ・ 無線設備 (受信状態を良くするために高々度のアンテナ設備)
- ・ 放送設備
- ・ レスキュー用品、応急処置に必要な装備
- ・ 救急箱、ツリーランセット、水、全身シーネ
- ・ JPA スポンサーメーカーのバナー
- ・ 選手の名札 (裏にタイムスケジュール、大会本部の連絡先等を記載)
- ・ スタッフ用の名札 (裏に緊急連絡先を記載)
- ・ 文具、ガムテープ、ゴミ袋などの消耗品

10.2 テイクオフ設備

- ・ 1 本以上の吹き流し
- ・ テイクオフエリアを限定する場合には、ポールとロープによって区画してください
- ・ 進入ゲートを作る場合には、ポールとロープによって区画してください
- ・ 公式時計用の GPS
- ・ タスクボード (1.8m × 0.9m 以上)
※SNS で運用する場合は用意しなくても良い
- ・ 公式掲示板 (1.8m × 0.9 以上)
※SNS で運用する場合は用意しなくても良い
- ・ 放送設備
- ・ 風速計
- ・ 無線設備 (受信状態を良くするために高々度のアンテナ設備)
- ・ レスキュー用品、応急処置に必要な装備
- ・ 救急箱、ツリーランセット、水、はしご、担架
- ・ JPA スポンサーメーカーのバナー
- ・ 文具、ガムテープ、ゴミ袋などの消耗品

10.3 ゴール設備

- ・ ゴールライン（幅 0.5m × 長さ 50m）
- ・ 2 本以上の吹き流し（ゴールライン両側に設置）
- ・ 風速計
- ・ 無線設備（受信状態を良くするために高々度のアンテナ設備）
- ・ ゴールポイント確認、公式時計用の GPS
- ・ 計測用ストップウォッチ
- ・ ランディングゾーン
- ・ パッキングゾーン
- ・ 可能であれば公式掲示板（選手へのアナウンスに使用）
※SNS で運用する場合は用意しなくても良い
- ・ レスキュー用品、応急処置に必要な装備
- ・ 救急箱、ツリーランセット、水、全身シーネ
- ・ 文具、ガムテープ、ゴミ袋などの消耗品

11 競技に関する規則

11.1 スコアリング

公認大会でレースを行う場合の得点計算は各リーグ競技規定に従ってください。また、パラメータは年度を通じて固定で行ってください。

11.2 ソフトウェア

主催者は JPA 競技事業部で認められたソフトウェアを使用し判定を行います。

PNL 公式ソフトウェアは「FS」とします。PCL はスコアリングフォーミュラ及び集計ソフトは主催者が選択したものとします。

11.3 競技規則の変更

大会開始後は安全上の理由以外で変更できません。ただし協会会長が特に認めた場合はその限りではありません。しかし変更した規則を遡って適用することは出来ません。

11.4 公式掲示

- ・ 公式掲示板に救急チャートと救急用品の設置場所を掲示してください
救急箱、ツリーランセット、水、はしご、担架、全身シーネ
- ・ 公式掲示板、タスクボードに気象情報を掲示してください
- ・ 結果の仮発表ならびに公式発表は可能な限り早く掲示してください

11.5 ブリーフィング

タスクブリーフィングはテイクオフで選手全員に対して行ってください。パイロン競技を行う場合には、地図、パイロン写真、タスクボードを用いて行ってください。

11.6 ペナルティー

- ・ 大会規則に違反した選手あるいは役員員の指示に従わない選手にはペナルティーを科すことが出来ます。その度合いによってタスク失格または大会失格とします。

- ・ 重大な危険行為をした選手および不正を働いた選手はその時点で大会失格とします。
- ・ 大会実行委員長、競技委員長の協議により危険行為に関してイエローカードを発行できます。イエローカードを受けた選手は以降の大会参加受付の際に審議の対象となります。
- ・ イエローカードを無効にするには所属スクールの推薦が必要となります。

11.7 タスクセット

- ・ 競技は行われるカテゴリーの競技ルールに従って行われます。
- ・ 競技タスクは主催される大会に応じたものとします。

11.8 安全について

- ・ 主催者は、選手の飛行を監視しなければなりません。
- ・ 競技委員長は空中、地上の気象の変化を観察しながら安全な競技の運営を行わなければなりません。競技委員長がテイクオフを離れなければならない時には、代替りの担当者を任命してください。
- ・ 事故が起きた場合には、迅速に行動がとれる体制を整えてください。

11.9 安全確認

主催者は、選手が安全にランディングした事を速やかに確認しなければなりません。

11.10 タスクボードへの記載事項

- A) 一般 : 日付、大会名、協力エリア
- B) タスク内容 : タスクの種類、タスクディスタンス、ミニマムディスタンス、ゴールラインクローズ時刻、ウインドウオープン時刻、ウインドウクローズ時刻、ランディング報告時刻、帰着申告時刻
- C) 安全に関する情報 : 帰着申告用電話番号、大会本部の電話番号、指定空域でのサーマルの旋回方向

12 救助方法

12.1 目的

参加選手と主催者、救助隊の連絡体制を確立し、発生したアクシデントに迅速に対応するため。

12.2 事故の通報後

- ・ 事故の通報が入った時点から、そのときの時刻連絡内容を記載します。
- ・ 大会役員は飛行中の選手と無線交信を行い、事故現場の GPS 座標、地形、海拔高度、グライダーの色、怪我人の名前、エントリーナンバー、怪我の状態を正確に把握するように努める。
- ・ どのような救助が必要か見積もる(ヘリコプターが必要かどうか。その他の救助体制)
- ・ 事故の状態を確認できる選手との連絡を続ける。
- ・ 主催者のアシストを出来る選手には、事故現場の近くで安全に着陸できる場所があれば着陸してもらおう要請を行う。
- ・ 主催者は、本部で全体を把握するものと現場へ救助に向かうものとに分かれて行動する。

12.3 事故現場到着後

- ・ 状況を確認しながら本部との連絡を密にする。

- ・意識があるかどうか確かめる
- ・呼吸を確かめる
- ・動けるかどうか確かめる
- ・骨折しているか、開放骨折なのか確かめる
- ・出血があるかどうか、内出血か確かめる

12.4 怪我人の保護と救助

- ・落石を避けるために怪我人には静かに近づくこと。できたら斜面のサイドから、もしくは下からアプローチをかける
- ・現場の安全を確保する
- ・怪我人を保護する
- ・むやみにけが人を動かさないこと
- ・寒がっていれば、温める
- ・意識がもうろうとしていても、話し掛けること
- ・むやみに水分を与えないこと
- ・救助が到着したら、ヘリコプターが近づける準備をする(グライダーをたたむ)
- ・山中からの搬送しなければならないときには、その手段を講じる(その場合にも指示を仰ぐこと)
- ・救急用具の装備品+GPS
- ・救急箱
- ・ツリーランセット
- ・はしご
- ・担架

13 大会報告書

大会報告書は、大会において提出された正式抗議と、それに対する処置を付記して、大会終了後 1 週間以内に JPA 事務局へ提出してください。